

ふくしま便り

No.2

2016年7月19日発行

7月号

日本生協連
組合員活動部

コープさがで開催された「ふくしま支援報告会」にコープふくしまから理事ら3人が参加し、5年が経過した福島状況を報告しました。仮設住宅住民による熊本・大分地震への募金活動や支援物資の送付などが引き続き取り組まれました。



仮設住宅ふれあいサロンから

5月2日、福島市北幹線の浪江町仮設住宅集会所で、「ふれあいサロン」を行いました。ユーコープしずおかよりいただいたプリザーブドフラワーリースをお届けし、喜んでいただきました。素敵なリースにちなんで折り紙で立体のバラを折ったあと、鯉のぼりの海苔巻き作りを楽しみました。



ひじきご飯
の素が
おいしい!



福島の現状を知る 視察と学習会

【被災地視察に訪れた生協】

7月5-6日、ユーコープ（神奈川県本部）福島訪問ツアーが開催されました。5日は、いわき中央インターからコープふくしま穴戸常務ら3人の案内で、富岡、浪江、飯館村を視察しました。6日は、伊達の果樹園で桃の生育状況、選果場の視察などを行いました。抽選で選ばれた32人の組合員と事務局5人が参加されました。



〈子安橋付近から東京電力福島第2原発を望む〉

【コープさが生協主催「ふくしま支援報告会」】



5月16-18日コープさが主催「ふくしま支援報告会」が佐賀市内、唐津市内の2か所で開催されました。コープふくしまから菅野理事、日野理事、生活文化グループ松崎さん3人が参加し報告しました。いずれの会場も30人前後の組合員の方々が参加しました。

〈「震災から5年・・・これまで・現状・これから ～もっと知りたいふくしまのこと～」を報告する日野、菅野理事〉



食事調査参加者交流会 ～山形と福島で開催されました～

6月13日と14日山形と福島で放射性物質の食事調査に参加する組合員交流会が開催されました。山形では福島から自主避難している方たちが参加しています。この「陰膳調査」には、毎年100人の組合員が協力しています。

日本生協連検査センター廣川、石川より放射能についての解説を行い、また、2015年度の検査結果は基準を超えるものがなかったことを報告しました。その後、参加者の意見交換を行いました。初めての参加者は「結果に安心した。」など感想を述べられていました。



知ってますか？ ～応急仮設住宅～

福島県内の仮設住宅（福島県の公表データから）

主な都市	2016年6月30日現在
いわき市	3,512
南相馬市	2,853
福島市	1,382
福島県合計	15,758戸

仮設住宅は、災害救助法により応急仮設住宅（仮設・借り上げ住宅）として供与されています。5年を経過したいま、福島全県で一律に供与期限が来年の平成29年3月末となりました。居住制限など地域や個別の事情は考慮されるようですが、仮設住民は、帰還か移住か判断を迫られています。

サロンにおじゃましました！

6月15日郡山市日和田高倉仮設住宅の談話室で開催されたサロンにおじゃましました。日和田高倉は、双葉町から避難している方たちでお茶会を開いています。ヨガをする予定でしたが、機器の関係で断念。近況や故郷のことなど、それでもおしゃべりは尽きることなく1時間半が経過しました。（写真後列は、郡山地域を支える日野理事、松崎さん、福田さんです） —by 住吉—



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池